

**「APEC 質の高いインフラ・ハイレベル会議」の開催結果**

(1) 日 時：平成29年10月17日(火) 9:30~17:30

(2) 場 所：グランドプリンスホテル新高輪「天平」(会議)、「平安」(企業展示会)

(3) 主な出席者：日本政府(和泉総理補佐官、吉田国土交通審議官等)

APEC 加盟国・地域の政府(インフラ担当省庁幹部)

※15エコノミー(オーストラリア、中国、香港、インドネシア、日本、韓国、マレーシア、ペルー、フィリピン、ロシア、シンガポール、台湾、タイ、米国、ベトナム)が参加。

日本企業7社、在京APEC加盟国大使館、国際機関(OECD, ADB等) 計約80名

(4) 議 長：[日本側] 吉田国土交通審議官(国土交通省)

[ベトナム側] ゲエン国際協力局長(ベトナム国建設省)

(5) 結果概要：

**[第1部] 基調講演**

- 冒頭、和泉内閣総理大臣補佐官より、日本政府を代表して開会挨拶がなされ、質の高いインフラ投資へのニーズや質の高いインフラ投資に係る重要な要素(ライフサイクルコストから見た経済性、地元の雇用創出、社会・環境への配慮、開発計画等との一貫性、PPPを含む資金調達)が表明されました。
- 基調講演において、首藤大臣官房審議官(国土交通省)より、日本政府及び国土交通省による質の高いインフラへの取組みの紹介とともに、「質の高いインフラ」を推進するための8つのターゲットについて示されました。ゲエン副局長(ベトナム国建設省)より、水・下水部門及びベトナム政府が直面する課題が示されました。波多野社長((株)海外交通・都市開発事業支援機構(JOIN))より、JOINによる質の高いインフラプロジェクトへの参画、成功するPPPプロジェクトに必要な要素(官民の連携、地元の労働者のキャパシティ・ビルディングなど)などが示されました。

**[第2部] プレゼン&討議セッション**

APECエコノミーによるプレゼンテーションが行われ、「質の高いインフラ投資」に係る課題、その解決のための取組、グッド・プラクティス等について紹介され、議論がなされました。第二部終了後、共同議長より、APEC地域における質の高いインフラ投資に係る取組を今後も推進・継続するための「APEC 質の高いインフラ・ハイレベル会議結果報告」が表明されました(別紙2)。本会議結果報告には、APECエコノミーより提出されたグッド・プラクティスを取りまとめた「質の高いインフラ・ケースブック」が含まれています。

### [第3部] 官民対話セッション

各インフラ分野の本邦企業等から「質の高いインフラ投資」に係る事例が紹介されました。

### [企業展示]

我が国企業19社より、「質の高いインフラ」に係る技術や実績が展示されました。

### [インフラ・ツアー]

明日19日には、APEC 招聘者を対象に、コマツ IoT センターにて日本の I—Construction の事例、パナソニック東京センターにて未来における IT ベースのインフラや住まいのあり方、東京スカイツリーにて我が国の公共交通指向型都市開発のあり方や耐震等の防災技術をご紹介するツアーを開催いたします。



フォトセッションの様子



和泉内閣総理大臣補佐官開会挨拶の様子



APECエコノミーによるプレゼンの様子



企業展示ブースの様子